

玉北小だより

小美玉市立玉里北小学校

学校通信 No.13

令和元年10月2日

【令和元年度も、半年を折り返しました】

時間が過ぎるのは、本当に早いものです。もう10月、折り返しの月。令和元年度も、あと半分を残すのみです。

9月は、各学年とも遠足を実施しました。玉北小の子どもたちは、見学態度が良く、落ち着きもあり、安心して引率することができました。引き続き10月は、社会科見学やいもほり、音楽のつどいなど、学校の敷地を離れて行う活動が多く計画されています。

さらには、玉北ハーモニー集会をはじめ、点字教室、避難訓練、学校保健委員会など、校内の行事も目白押し。その間、市文化祭に向けて絵画や習字の作品作りも進めていかななくてはなりません。まさに、“充実の秋”といった感じの10月になりそうです。



左上：1・2年生遠足 左中：3・4年生遠足

左下：3年生社会科見学 右下：6年生遠足

【交通安全のお願い】

自転車に乗るときは、必ずヘルメットをかぶりましょう。

日々是好日

★毎週金曜日は、「ひこうせん」や「お話テルテル」のみなさんに、“読み聞かせ”をしていただいています。

いつものように読み聞かせを始めようとしていたその日は、何人かおしゃべりがやみませんでした。ボランティアの方はおしゃべりがやむのを待っていました。周りの様子に気付いた子たちは、口を閉じ、教室内が静かになりました。と同時に、楽しい物語の世界が始まりました。

読み聞かせが終わった後、ボランティアの方が、笑顔で私に話しかけてきました。「読み聞かせが終わってから、おしゃべりをしていた子たちが私のところへ来て、『さっきは、おしゃべりをしていて、すみませんでした。』と謝りにきたのです。自分の行動を振り返り、それを次の行動につなげる子たちって、なんてすてきなんでしょう！」

★校庭に立派な桜の木が何本もありますが、校舎から見える大きな木も素敵です。

子どもたちは、日々成長しています。玉里北小ももうすぐ閉校になります。時が過ぎ、やがて子どもたちが大人になっても、この大木たちは変わらずここにあるんだろうなと思うと、木々に対して祈りのような気持ちがわいてきます。

実は、昇降口に掲示した「未来の木」にも、変わらずに子どもたちの成長を見守ってほしいという願いを託してあります。

中島美嘉の歌の中に「めぐる木々たちだけが 二人を見ていたの ひとところにはとどまれないと そっとおしえながら」というフレーズがあったなあと、子どもたちが校庭を元気に遊ぶ姿を見て、ふと思い出しました。

